

男女共同参画専門人材設置事業【山梨県】

個別事業費

721 千円

交付金額

360 千円

地域の実情と課題

本県課題として「社会の幅広い分野で制度や仕組みに意見を反映できるリーダー的人材を育成していくこと」や「多様な視点や発想を取り入れることが出来るよう、地域における女性の参画を進めていくこと」があげられる。県民等の主体的な取り組みを支援していく必要があるが、活動支援のための助言が出来るような専門的知識を持つ人材(専門人材)を設置出来ているとはいえない状況

事業の特徴

①統括アドバイザーによる交流サロン

講演やワークショップによる「交流サロン」を実施。その場で出されたアイデアや具体的な提案に対し、統括アドバイザーが、参加者自らが地域での取り組みに寄与できるような助言を行う。

②専門アドバイザーによる相談事業

地域で活動する団体や個人から寄せられる男女共同参画の各分野に関する相談に対し、課題解決のための助言・講座等を実施

事業の効果

地域で活動する女性団体等や個人が抱える課題等に対して、専門的知見を有する専門家による助言を受けることで、活動内容のさらなる発展が期待され、本県の官民連携による男女共同参画の取り組みが強力に推進されていくことが期待される。

目的・目標

目的: 地域で活動する女性団体等や個人が抱える課題等に対し、専門的知見を有する専門家の多面的な助言による、活動内容のさらなる発展を期待し、本県の官民連携による男女共同参画の取り組みが強力に推進されていくことを目的とする。

目標: 専門人材による助言の回数 54回 (R6実績 28回)

連携団体

- 国立女性教育会館
- 山梨大学
- 山梨県立大学
- 都留文科大学
- 山梨県県立男女共同参画推進センター
- 県内市町村

今後の課題

相談の依頼があるものの、アドバイザーの都合がつかずに依頼を断る例が複数あったため、人選や設置人数などを検討し、依頼に対応できる体制作りを行う必要がある。

[illegible]